

こどものみらい叢書 ⑤

子育ての常識から 自由になるレッスン おかあさんのミカタ

高石恭子 著

累計 **12万PV**
突破

◎本書の内容◎

はじめに 「子育ては楽しい」のワナ

新米おかあさんの経験

- 第1章 赤ちゃんとの出会い——おかあさんもまた「生まれる」
- 第2章 おっぱいのしもべ？——近づきすぎるとそれしか見えない
- 第3章 イイヤ期の到来——勝ってはいけない闘い
- 第4章 三歳まではなぜ大切か——「三つ子の魂」に刻まれていること
- 第5章 おむつは布か紙か——忠告をふるいにかける

頑張らない子育て

- 第6章 母親だけではできないヒトの子育て——おとうさんを同志に
- 第7章 「私が」頑張ってもうまくいかない——子育てはチームで
- 第8章 きょうだいを育てる——葛藤がきたえる絆
- 第9章 負の感情との付き合い方——「話す」ことで「離す」
- 第10章 距離という劇薬——ほどよい母親でいるために

こころを解き放つ

- 第11章 内なる子ども・内なる母——こころの声に耳をすます
- 第12章 罪悪感という友だちと別れるコツ——負の因果関係にとらわれない
- 第13章 「別れ」のレッスン——寂しさと誇らしさと
- 第14章 子育てのゴール——ひとりでいられる力を育む
- 第15章 育てあげの風景——自分の人生を生きる

あとがき

世界思想社WEBマガジン「せかいしそう」の
好評連載「おかあさんのミカタ」を書籍化！
連載はこちらから読めます▶



高石恭子(たかいし きょうこ)
甲南大学文学部教授、学生相談室専任カウンセラー。
専門は臨床心理学。乳幼児期から青年期の親子関係の研究や、子育て支援の研究を行う。
著書に『臨床心理士の子育て相談』(人文書院、2010年)、『自我体験とは何か』(創元社、2020年)、編著に『働くママと子どもの〈ほどよい距離〉のとり方』(柘植書房新社、2016年)などがある。


子育ては楽しい？ いえいえ、そんな単純なものではない！
「母とはこうあるべき」という「常識」がおかあさんたちの心を縛りつけている。大切なのは、育てる側の心が自由で生き生きとしていること。社会の、そして母親自身の「おかあさんのミカタ」を解きほぐし、別れを見すえた親子関係を考える。

俵万智さん推薦

**悩み迷っていた頃、
こんなミカタが欲しかった！**

受注用コード



『子育ての常識から自由になるレッスン——おかあさんのミカタ』 高石恭子 著 定価1,870円 (10%税込) 2021年6月刊行 四六判・並製/200頁 ISBN978-4-7907-1756-0		ご注文冊数 冊
お名前	お電話番号	書店印
ご住所〒		
 世界思想社		〒606-0031 京都市左京区岩倉南桑原町56 電話：075-721-6500 FAX：075-721-8707